

第5分科会石川支部 ワークシート(セッション2)

学校のスタッフとして生き生きと働く！ ～自由な発想で学校事務をデザインする～

★全事研Webに投稿した各自の実践事例を御用意の上、参加をお願いします。

なお、投稿できていない方はこのシートを御用意の上、参加をお願いします。

1. つかさどり、学校運営参画を行うため、自分が日頃担っている役割や実践している内容を振り返り、グループでの討議の参考にしましょう。

【タイトル】 財務委員会を開催して

【背景と目標】 彦根市学校事務推進委員会・財務部会より各校にて財務委員会を開催できるようにしようとの声かけがありましたので、本校でも開催することにしました。
財務委員会とは、校費予算や学校徴収金について話し合う場です。“説明”ではなく、教員と“協議”することを目標にしています。

【協働・取組】 本校は令和4年度から計画していましたが事情により開催できませんでした。令和5年度は年度初めに年間計画をたて年間3回の開催を予定しています。4月に第1回財務委員会を開催することができました。
主な内容は今年度の購入備品の選定についてです。
管理職・各学年部より1名・事務職員の8名で開催しました。
開催にあたっては、昨年度から次年度の備品購入にむけて資料を集めたり年度当初に教員にアンケートを取ったりして、事前に購入予定備品リストを作成しました。

【成果と課題】 こちらから購入予定備品リストを提示したことにより、教員から意見が出やすかったです。（〇〇より□□のほうが欲しいなど）
またリストになかった備品も「あ、そういえば」というように意見が出て購入に至った備品もあります。備品ではない物品で購入したいとの声があったものについては消耗品費で購入する等の対応もしました。
紙面のアンケートだけでは吸い上げられなかった意見も、実際に話し合いの場を設けることで聞くことができよかったです。
要望について実際に購入につながったことも教員には喜んでもらったのではないかと思います。

【教訓】 多忙な教員に財務委員会という会議を押しつけては嫌がられるだろうと

思っていたが、実際に開催してみると積極的に意見をくれる教員もいて、結果、開催してよかったと思っています。

- (参考例)
- ① GIGAスクール、ICT機器を使った実践
 - ② コミュニティ・スクール、地域連携の実践
 - ③ 環境整備の実践
 - ④ 業務改善（教職員の負担軽減）の実践
 - ⑤ 財務（予算要求、保護者負担軽減）に関する実践

2. 自分の実践の自己分析を5段階で〔低1～5高〕してみましょう。

① 実践の自分の満足度	1	2	3	4	5
② 実践への周りの反応	1	2	3	4	5